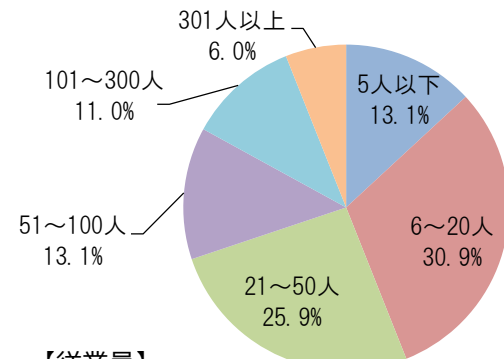
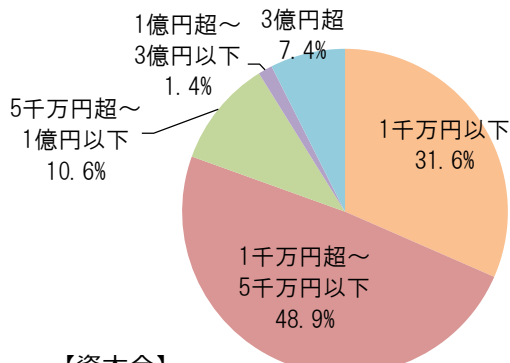
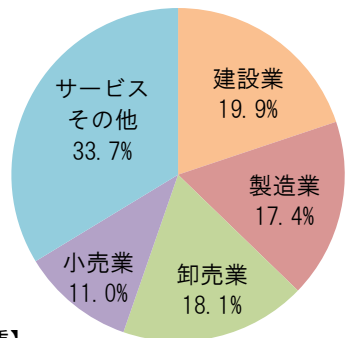


調査概要

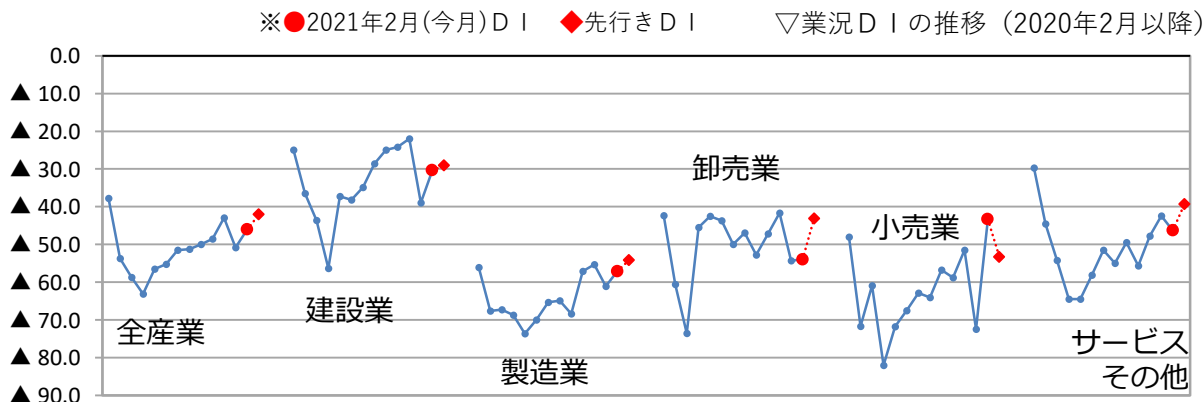
1. 調査期間 2021年2月9日(火)～2021年2月24日(水)
2. 調査対象 札幌商工会議所定期景気調査 登録企業545社
3. 回答状況 283社 (回答率51.9%)
4. 調査項目
 - ① 2月の業況と先行き見通し
 - ② 付帯調査…新型コロナウイルスによる経営への影響
 - ③ 付帯調査…事業者向け (BtoB) 販売における販売先との取引条件
5. 回答企業属性



① 2月の業況と先行き見通し

全産業合計の業況DIは▲46.1と、4.7ポイントの改善。先行き見通しDIは▲42.1とやや改善の見込み。

	2021年	2021年	
	1月	2月	3月～5月
全産業	▲50.8	▲46.1	▲42.1
建設	▲39.0	▲30.4	▲29.1
製造	▲61.1	▲57.1	▲54.2
卸売	▲54.3	▲54.0	▲43.1
小売	▲72.5	▲43.3	▲53.3
サービスその他	▲42.5	▲46.3	▲39.4



※DI値について…ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

※先行き見通しDI = 当月(2月)と比べた、向こう3ヶ月(3月～5月)の先行き見通し

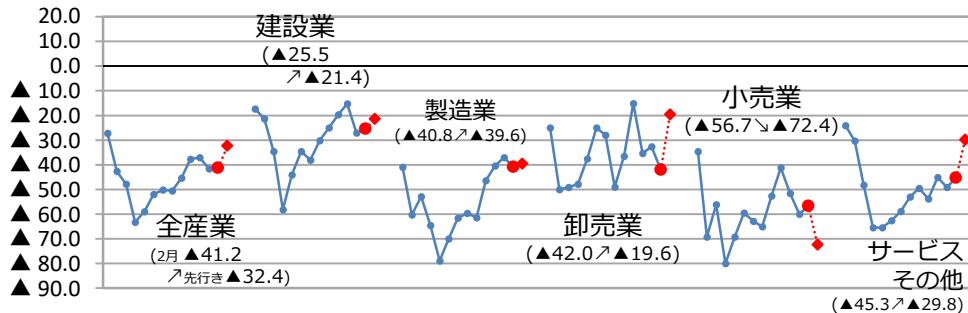
【例】

$$\text{業況DI} = \frac{(\text{好転} - \text{悪化}) \times 100}{(\text{好転} + \text{不変} + \text{悪化})}$$

1) 売上DIと先行き見通し

▽売上DIの推移 (2020年2月以降)

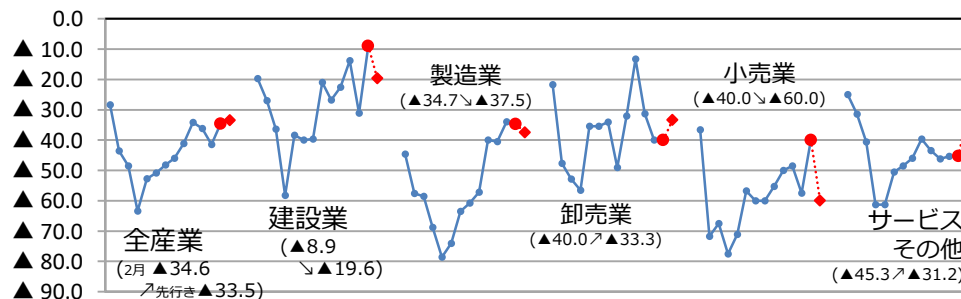
売上DIは▲41.2と前月から横ばい。
先行きDIは▲32.4と改善の見込み。



2) 採算(経常利益)DIと先行き見通し

▽採算DIの推移 (2020年2月以降)

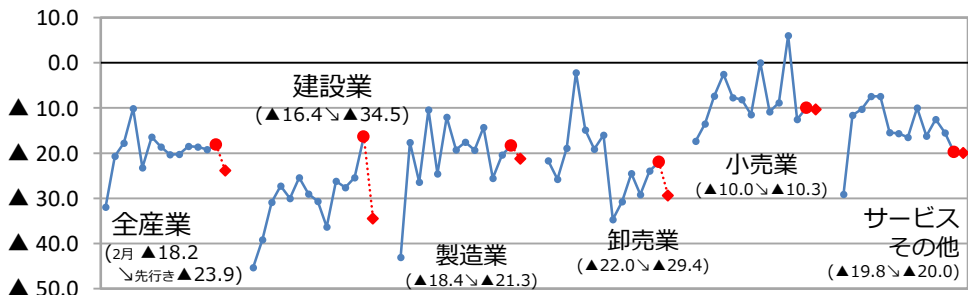
採算DIは▲34.6と前月から6.7ポイントの増加。
先行きDIは▲33.5とわずかに改善の見込み。



3) 仕入単価DIと先行き見通し

▽仕入単価DIの推移 (2020年2月以降)

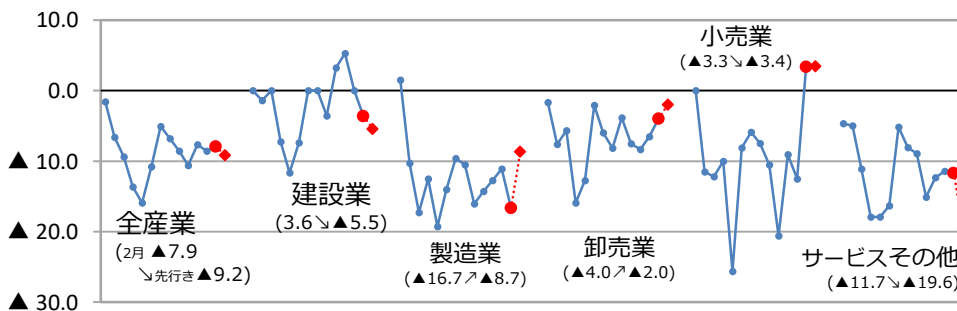
仕入単価DIは▲18.2と前月から1.0ポイント増加。
先行きDIは▲23.9で、価格の上昇を訴える傾向が強まる見込み。



4) 販売単価DIと先行き見通し

▽販売単価DIの推移 (2020年2月以降)

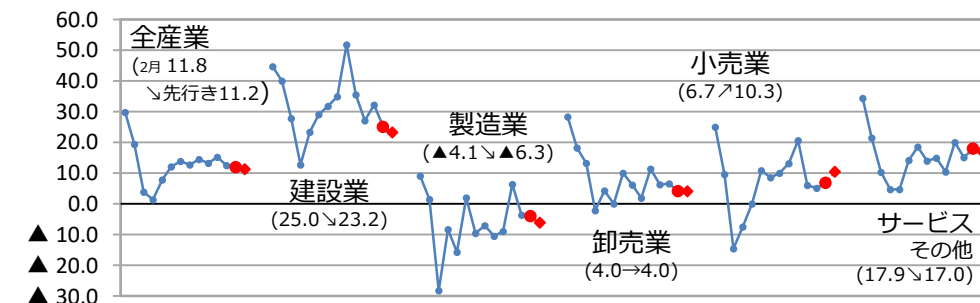
販売単価DIは▲7.9と前月から横ばい。
先行きDIは▲9.2とやや悪化の見込み。



5) 従業員DIと先行き見通し

▽従業員DIの推移 (2020年2月以降)

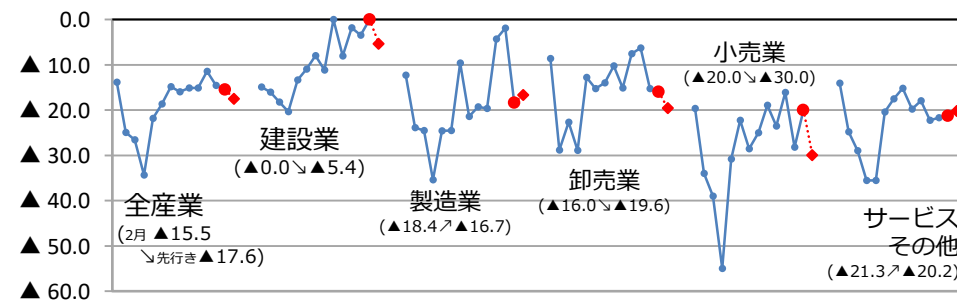
従業員DIは11.8と前月から横ばい。
先行きDIは11.2で、人手不足感がわずかに弱まる見込み。



6) 資金繰りDIと先行き見通し

▽資金繰りDIの推移 (2020年2月以降)

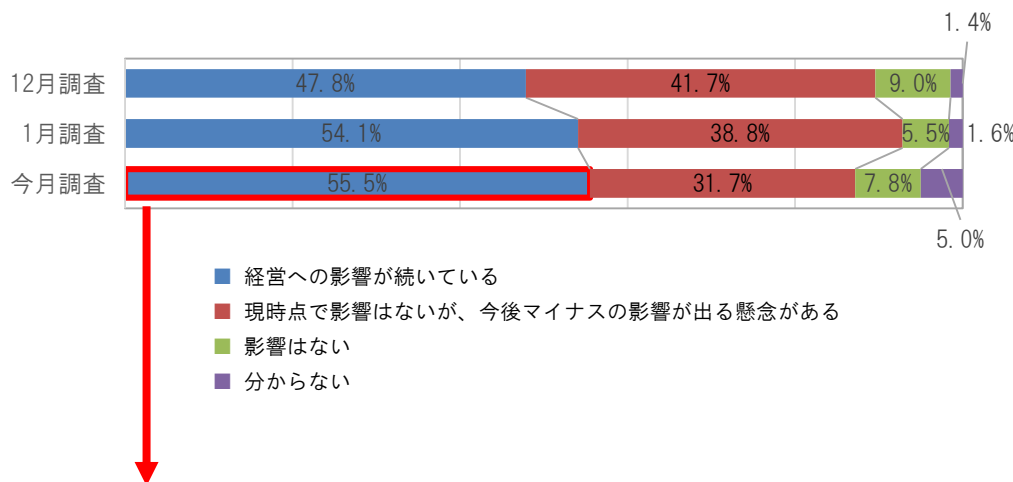
資金繰りDIは▲15.5と前月から横ばい。
先行きDIは▲17.6とわずかに悪化を見込む。



②新型コロナウイルスによる経営への影響

- ▶ 新型コロナウイルスによる経営への影響について、「影響が続いている」と回答した企業は55.5%で、前月調査時と比較して1.4ポイント増加した。また、「経済活動の停滞が長期化すると影響が出る懸念がある」と回答した企業は31.7%、「影響はない」と回答した企業は7.8%であった。【図1】
- ▶ 業種別でみると、「影響が続いている」と回答した企業の割合が最も高いのは「小売業」の66.7%で、「製造業」が63.3%、「サービスその他」が60.0%と続いた。【表1】
- ▶ 新型コロナウイルスの影響を踏まえた資金繰りの対応については、「雇用調整助成金を検討・申込」が2020年9月調査から同3.6ポイント減の39.6%、次いで「採用・派遣労働者の人数を縮小・見送る」は同1.1ポイント増の36.7%、また、「従業員の休業を実施」は9.4ポイント減の15.9%となった。【図2】

図1 【新型コロナウイルスによる経営への影響】



参考【感染拡大前と比べたマイナスの影響の大きさ】

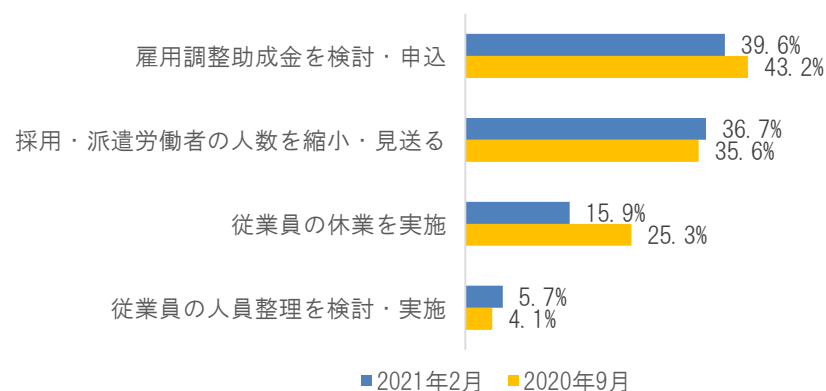
「経営への影響が続いている」と回答した企業が対象(図1)

深刻な影響 (売り上げが50%超減少)	18.6%
大きな影響 (売り上げが30%程度減少)	26.3%
ある程度の影響 (売り上げが10%程度減少)	55.1%

表1 【業種別影響度】

	建設業		製造業		卸売業		小売業		サービスその他	
	前月	今月	前月	今月	前月	今月	前月	今月	前月	今月
影響が続いている	27.1%	32.1%	72.2%	63.3%	56.5%	58.8%	70.0%	66.7%	52.8%	60.0%
現時点で影響はないが、今後マイナスの影響が出る懸念がある	64.4%	44.6%	25.9%	28.6%	39.1%	31.4%	25.0%	20.0%	35.8%	29.5%
影響はない	6.8%	7.8%	0.0%	4.1%	2.2%	5.9%	5.0%	10.0%	9.4%	4.2%
分からない	1.7%	5.0%	1.9%	4.1%	2.2%	3.9%	0.0%	3.3%	1.9%	6.3%

図2 【新型コロナウイルスの影響を踏まえた資金繰りの対応】



■ 2021年2月 ■ 2020年9月

③事業者向け（BtoB）販売における販売先との取引条件

- ▶ 事業者向け（BtoB）販売をしている企業のうち、「取引条件が改善した」企業は8.2%と、2020年2月調査から4.9ポイント減少した。「改善した事項はない・変わらない」は85.9%と6.4ポイント増加、「取引条件はむしろ悪化している」は2.0%で2.4ポイント減少となった。【図1】
- ▶ 改善した取引条件は、「販売先からの支払いが手形から現金に変わった、サイトが短縮された等」が46.2%で最も多かった。次いで「発注が口頭のみではなくなった、発注書に金額が記載されるようになった等」が23.1%、「販売先による支払遅延、代金の減額がなくなった等」が15.4%となった。【図2】

図1 【BtoB販売における販売先との取引条件】（前年度比較）

※円グラフの外側が2021年2月調査、内側が2020年2月調査

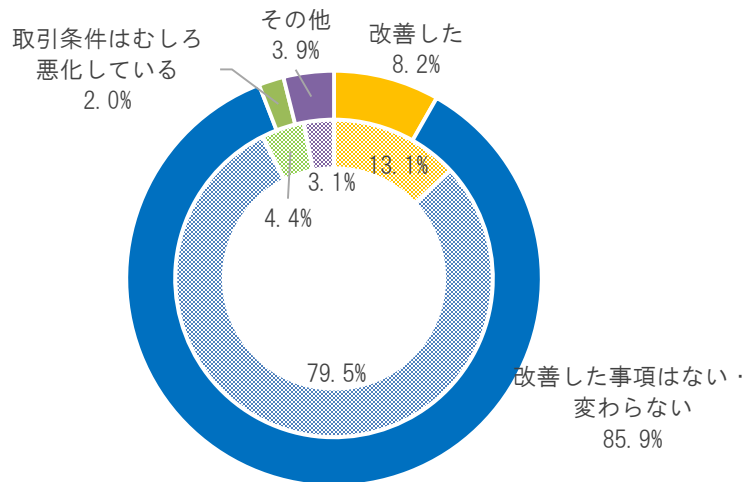
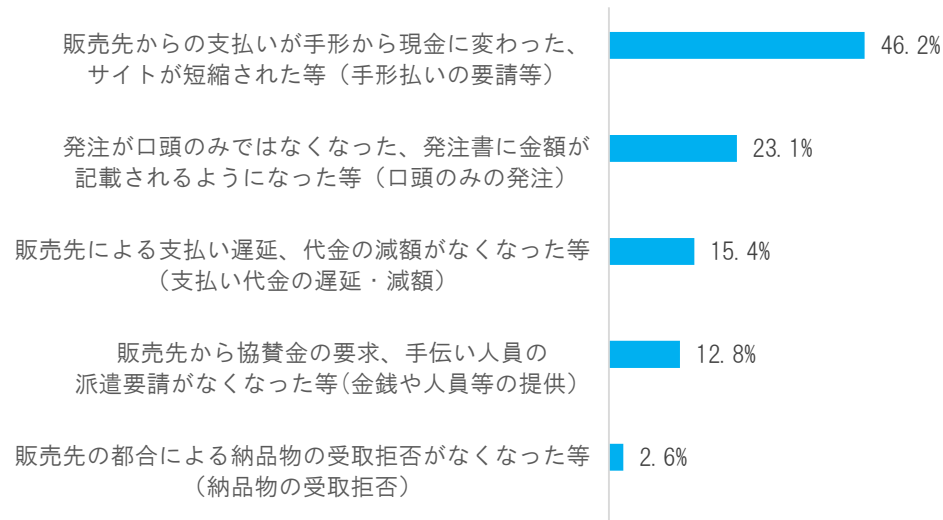


図2 【改善した取引条件】（複数回答・上位5項目）

※「改善した」と回答した企業が対象



（参考）会員の声

- ▶ 雇用調整助成金が使いにくいため、もう少し使いやすい制度にしてほしい。 …【飲食店】
- ▶ コロナ禍による会社訪問の自粛が続き営業活動に支障がでている。仕入価格が上昇傾向、売上に転嫁できない物もあるので利益率が減少している。 …【印刷業】
- ▶ 仕入先、販売先、関係先から在庫を処分したいとの問い合わせが多くなっている。 …【製材卸売業】
- ▶ 観光客減少によるホテル営業が難しくなり、アメニティを納入していたが、全くというほど注文がなくなった。今は化粧品部門で休業助成金をもらっているが、今後の先行きは見えない。 …【化粧品卸売業】
- ▶ コロナの影響による販売先や注文の減少がいつまで続くのか見通しが立たない状況で、設備投資や新規雇用等考えられない。 …【食料品製造業】
- ▶ 消費の落ち込みで商品が回転しなく、賞味期限切れによる商品ロスが増加している。 …【食品卸売業】